

【イタリア】

1月の市場動向トピックス

- 2017年1月の訪日イタリア人数は、前年同月比14.9%増の6,400人となり、1月として過去最高を記録。
- 航空会社との共同広告や各社が独自に行ったキャンペーンの対象搭乗期間が始まったことが、訪日者数の増加を後押しした。
- 1月より、日本発着のクルーズ船「コスタネオロマンチカ」の運航が開始され、フライ&クルーズによる訪日需要が増加したと考えられる。

1月の主なプロモーション活動

- * 1月14日より、ANAとの共同広告事業を開始し、交通広告や新聞広告、オンライン広告など訴求力の高い媒体を通じて露出を図った。ストップオーバー1回、国内線1路線往復を含むキャンペーン価格は、2月14日の予約分まで適用され、地方への誘客も期待できる。



ミラノにおけるトラムでの広告

- * 1月15日より、ラグビーワールドカップ2019向けのイタリア語ウェブサイトを開設した。同サイトでは、イタリアチームが予選を戦う静岡、大阪、愛知、福岡を含むワールドカップの各会場スタジアムへのアクセス情報や周辺の観光魅力などを紹介している。



- * 1月16日より、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペインの欧州5か国を対象にした360°VR動画「JAPAN - Where tradition meets the future VR」をYouTubeに公開した。東京タワーや京都の嵯峨野竹林など、いわゆるゴールデンルートにある観光地のほか、近年欧州からの関心も高い瀬戸内から美しい自然が楽しめる香川・小豆島の「エンジェルロード」など、日本国内の厳選した16か所を紹介。動画の公開に併せて、1月17日よりVR動画に対し専用応募フォーム上でコメントを頂いた方の中から各国抽選で1組2名に日本往復航空券が当たる懸賞キャンペーンを実施中。

